



森の楽校だより

VOL. 3

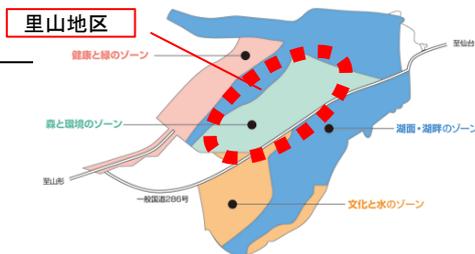


森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成26年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、この度、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

今年度は最初の取り組みとして、森の中のコナラの木に、活動の拠点となるツリーハウスを作っています。



10月22日(土) 雨 自然共生園で道具の手入れ



道具の手入れをしました！

先週22日と今週29日、2週間続きの雨になってしまいました！残念です。

足元が危険なため、里山地区には入れないので、自然共生園に行って、じっくりと道具の手入れをしました。

ナタやヨキは砥石でよく砥ぎました。

下は鳶口(とびくち)。原木など木材の移動・運搬・積み上げなどに使います。柄は、山の堅木を使って、自分の手に馴染むように創りました。



ナタ



ヨキ(斧)

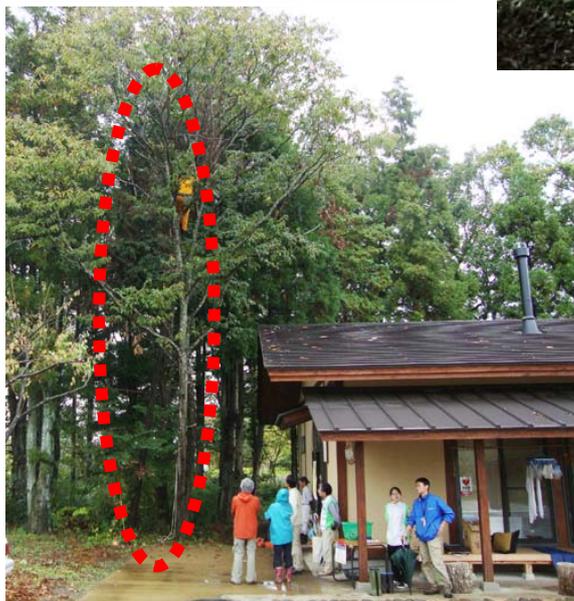


鳶口

立ち枯れていたヒノキの伐倒

自然共生園の知恵体験舎のイグネには、立ち枯れていたヒノキがあって、気になっていました。森の楽校スタッフが、「それなら」ということで、倒すことにしました。

まずは、絡んでいる枝を払いました。



木にロープを掛けて引くと、木を切るまでもなく、倒れました。根元を見るともう根っこがない状態でした。

倒れた木は、玉切りにして、薪ストーブを作りました。

薪ストーブ

通常の薪ストーブとは違います。薪を使ったコンロとも言えます。

自然共生園で立ち枯れていたヒノキを倒して玉切りにして作りました。

丸太に切れ目を入れて、着火材で火をつけると、あら不思議！中だけが燃えていきます。

これで結構、お湯を沸かしたり、鍋をかけたたり、山で重宝します。

今後のために、たくさん作っておきました。

